

気胸クリニカルパス

患者氏名：

様

		入院日	2日目～5日目	6日目
観察	1日2回 体温・血圧・脈拍・酸素飽和度を測定します			
	胸の痛み・呼吸の苦しさはないか・呼吸の音・管の異常はないか、 管の入っている所の痛みや出血・皮膚の赤みはないか・管から空気が漏れていないかを観察します			呼吸の苦しさはないか・胸の痛みはないか、管を抜去したところの痛みや出血がないか観察します
食事	普通食となります（糖尿病や高血圧等食事に制限が必要な場合は治療食となります）			
清潔	管が入っている間は体を拭きます 管が抜けたらシャワーに入れます 管の入っていたところの抜糸が済むまでは入浴は避けてください			
排泄	トイレに行くことができます			
診察 処置	外来または病棟で胸に管をいれます	肺が膨らんで管から空気の漏れがなくなったら管を一時的に止めます レントゲンの結果を見て管を抜きます		
	必要時、酸素を投与することがあります 管が入っている所を1日1回消毒します			
検査	外来または病棟で胸のレントゲンをとります	2日目に胸のレントゲンをとります（2日目以降も撮影する事があります）		退院前に胸のレントゲンをとります
薬物療法	点滴			
	内服薬	持参薬を確認します 入院中の分は持参して下さい 痛み止めの内服が処方になります 1日3回まで痛み止めを使うことができます		
説明・指導	胸の管が入った状態での移動方法 管の取り扱い方法について説明します 病棟内の説明を行います 入院書類について説明します			
目標	呼吸が安定している 痛みがコントロールされる オリエンテーションの説明内容が理解できる	呼吸が安定している 痛みがコントロールされる	呼吸が安定している 退院後の注意点が理解できる	

★症状経過によってはスケジュール通りにならないことがありますのでご了承下さい。

2016年12月作成（2019年5月改訂）パス委員会承認 聖隷浜松病院 B5病棟

